

平成30年度
事業報告及び決算報告書

目 次

公益財団法人千葉県下水道公社の概要	1
平成30年度事業報告	
Ⅰ 事業概要	2
Ⅱ 事業別概要	3
公益目的事業	
1. 普及啓発事業	3
2. 管理事業	4
3. 建設事業	6
Ⅲ 庶 務	
評議員会及び理事会の開催状況	7
役職員の状況	
役員一覧表	9
評議員一覧表	9
職員の状況	10
組 織 図	10
平成30年度決算報告	
貸借対照表	11
正味財産増減計算書	12
正味財産増減計算書内訳表	16
財務諸表に対する注記	19
附属明細書	21
財産目録	22

事業報告書

公益財団法人千葉県下水道公社の概要

下水道は市街地の雨水排除及び生活排水などの汚水処理により都市の生活環境を改善し、河川・湖沼等の水質を保全するために不可欠な施設です。しかしながら、下水道事業着手済の市町村では下水道施設の建設及び維持管理に要する経費の節減並びに技術職員の安定確保、また新たに下水道事業を着手する市町村では財政負担及び技術者の確保等が課題となっています。

このような状況から公益財団法人千葉県下水道公社は、下水道知識の普及啓発、下水道技術者の養成を行い、併せて下水道施設の管理、下水道事業に係る計画設計・建設工事の受託並びに財政援助を積極的に行い、千葉県の下水道整備の推進を図ることで、県民の生活環境の改善と河川、湖沼等の水質が保全されることを目的として設立されました。

【概 要】

- 1 法人の名称 公益財団法人 千葉県下水道公社
- 2 設立年月日 平成 4 年 3 月 2 5 日
(平成 2 5 年 4 月 1 日 公益財団法人として名称変更及び
移行登記)
- 3 事業所及び所在地 本 社
総務部総務課 ・ 施設管理部管理課 ・ 建設部建設課
千葉県美浜区磯辺 8 - 2 4 - 1

施設管理部
花見川処理場
千葉県美浜区磯辺 8 - 2 4 - 1

花見川第二処理場
千葉県美浜区豊砂 7

手賀沼処理場
我孫子市相島新田 8 5 - 5

江戸川処理場
市川市福栄 4 - 3 2 - 2
- 4 役職員及び評議員 P 9 参照
- 5 基本財産 3 億 6 千 7 百万円
(千葉県：2 億円 千葉県企業土地管理局 3 千万円
県内 5 4 市町村：1 億 3 千 7 百万円)
- 6 事業内容 (1) 下水道知識の普及啓発
(2) 下水道技術の調査・研究
(3) 下水道技術者の養成
(4) 流域下水道施設の維持管理等及び修繕工事に係る設計・設計積算・施工監理・技術的支援
(5) 公共下水道施設の設計・設計積算・施工監理・建設工事・技術的支援

平成30年度事業報告

I 事業概要

当社は、流域下水道の維持管理及び公共下水道に関する業務を行うほか、下水道知識の普及啓発活動、下水道の調査研究及びその成果の活用等を行い、千葉県及び市町村の下水道事業に協力し公衆衛生の向上及び環境保全を目的として事業を行った。

また、平成25年4月1日に公益財団法人へ移行し、新たな体制のもと、これまで培った知識や経験を活かし、公益性の高い法人として、より一層の適正かつ効率的な事業運営に役職員が一丸となって努めた。

1 「経営計画（平成28～32年度）」に基づき、公共用水域の水質保全や循環型社会の構築などに努めるとともに下水道事業を総合的にサポートするために資質の向上に努め、目的達成を目指した。

「経営理念」

- 1 県民の生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、適正な下水処理に努めます。
- 2 下水道の持つ資源やエネルギーを有効的に活用し、循環型社会構築のため、その一翼を担う公社を目指します。
- 3 下水道事業を総合的にサポートする公社として、さらなる技術力向上に努めます。
- 4 効率的な業務執行に努め、健全な公社運営を目指します。

2 「下水道の日」（9月10日）を中心に幹線道路に横断幕を設置し、地元紙へ寄稿するとともに広告を掲載し下水道についてのPRや理解を深めてもらう広報活動を行った。

3 下水道教室や親子下水道教室（施設見学会）等を開催し、実際に見て・触れることにより下水道の役割や仕組みを体験してもらう活動を行った。

4 下水道技術の向上を図るため、下水道技術全般に関する調査研究を行った。

5 千葉県や県内市町村の下水道に従事する職員を対象にした講習会を開催し、共通課題や情報交換等を行い、共通認識のもと適正な運転管理が行えるようにした。

6 千葉県から印旛沼、手賀沼、江戸川左岸流域流域下水道及び再生水利用下水道、下水処理水再利用の各施設の維持管理業務に係る履行監視業務等や修繕工事に係る設計積算業務、施工監理業務等を受託し、行い流入水を適正に処理し、公共用水域の水質保全と循環型社会の構築に寄与した。

7 千葉県及び県内市町村から公共下水道施設に係る設計業務、建設工事、施工監理業務を受託し、計画から整備を行った。

II 事業別概要

【普及啓発事業】

1 下水道の日行事

「下水道の日」（9月10日）に合わせて、下水道に対する県民の理解と関心を深めることを目的に次の諸行事を行った。

- ① 下水道推進標語入り横断幕を掲出した。（千葉市稲毛区穴川交差点歩道橋他6か所）
- ② 交通機関での下水道PRポスターを掲示した。（JR線他）
- ③ 県内市町村へ下水道PRポスター及び啓発品（エコスポンジ）を配布した。
- ④ 新聞、フリーペーパー及びラジオでPR広告・放送を行った。（千葉日報・bayfm他）
- ⑤ 集客施設最寄駅の大型スクリーンでPR広告を行った。（海浜幕張駅前他2か所）

2 処理場見学

各流域下水処理場において、説明用DVDの鑑賞後に施設見学を行った。

処理場	月	(人)												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
花見川終末処理場		0	78	7	98	45	121	53	0	100	1	0	0	503
花見川第二終末処理場		3	168	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	198
手賀沼終末処理場 ※		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
江戸川第二終末処理場		0	0	9	20	6	49	0	15	0	0	40	0	139
計		3	246	16	118	78	170	53	15	100	1	40	0	840

※ 見学受入休止中

3 「出張下水道教室」の開催

職員が小学校へ出向き、下水道の仕組みなどを説明するとともに、実際に汚した水をきれいにする実験や微生物を観察する下水道教室を行った。

また、下水道の正しい使い方を説明して、水環境に負担をかけない生活を家族にも取り組んでもらうように説明した。

実施数 8校 18授業 受講者 664人

(累計 238校 455授業 受講者16,716人)

4 「親子下水道教室（施設見学会）」の開催

各終末処理場周辺に住む小学生とその保護者に下水道の仕組みや役割を説明、施設の見学、水質浄化実験の実演、微生物を観察してもらい下水道について理解してもらった。

開催日	開催場所	参加者
8月4日	江戸川第二終末処理場	104人（44家族）

5 各種イベントでのブース出展

各イベントに出展し、会場で下水道に関するパネルを掲出しながら説明に加えクイズに参加してもらった。

イベント名	会場	開催日	参加者
上下水道展	流山市生涯学習センター	6月3日	約 530人
花と緑のフェスティバル	県立北総花の丘公園	10月20日	約 300人
印旛沼流域環境・体験フェア	佐倉ふるさと広場	10月27日	約 270人
イベント参加者合計			約 1,100人

6 広報誌等の作成

- ①パンフレット「下水道を学ぼう」の発行
- ②広報誌「きらら」の発行（52号）
- ③業務案内の発行
- ④下水道に関するパネル、ビデオテープ、DVD及び図書の貸出しを行った。

7 下水道技術の調査研究

- ①下水道に係る専門図書を収集した。
- ②共同研究として「超省エネ型ハイブリッド下水処理システムの実証」実験の成果を第55回下水道研究発表会（主催：公益社団法人日本下水道協会）で発表した。

8 下水道技術者の養成

市町村及び県下水道担当職員を対象とする講習会を実施した。

8月27日開催（受講者数 78人）

テーマ 下水道BCPに基づく訓練について

講師 公益財団法人 日本下水道新技術機構

研究第一部 副部長 内田 聡 氏
研究員 山口 真人 氏

9 その他

下水道の仕組みを分かりやすくするための「啓発施設の整備」や県内市町村に対して災害が発生した際に必要な「資機材等の支援」、県内市町村職員に対する「研修参加支援」をより具体化するために準備を進めるとともに特定費用準備資金としてそれぞれ積立てを行った。

【管理事業】

1 印旛沼流域下水道施設管理受託

千葉県から千葉市、佐倉市他（計13市町）の印旛沼流域の汚水を処理する流域下水道施設の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

2 手賀沼流域下水道施設管理受託

千葉県から松戸市、柏市他（計7市）の手賀沼流域の汚水を処理する流域下水道施設の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

3 江戸川左岸流域下水道施設管理受託

千葉県から市川市、船橋市他（計8市）の江戸川左岸流域の汚水を処理する流域下水道施設及び江戸川第二終末処理場の覆蓋上部等に建設された「いこいの広場」の維持管理業務（市川市管理部分を除く）及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

4 再生水利用下水道施設管理受託

千葉県から、印旛沼流域下水道花見川終末処理場の二次処理水を高度処理し、再利用水として幕張新都心の一部地区に供給する再生水利用下水道施設の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

5 下水処理水再利用施設管理受託

千葉県から、印旛沼流域下水道花見川終末処理場の二次処理水を幕張新都心地区において地域冷暖房システムの熱源として送水する下水処理水再利用施設の維持管理業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

6 花見川処理水再利用事業

幕張新都心地区において東京都市サービス㈱が行う地域冷暖房事業の熱源として花見川終末処理場の処理水を千葉県から承認された処理水利用権に基づき供給した。

流域下水道施設の概要

流域名	印旛沼 流域下水道		手賀沼 流域下水道	江戸川左岸 流域下水道
終末処理場	花見川 終末処理場	花見川第二 終末処理場	手賀沼 終末処理場	江戸川第二 終末処理場
供用開始	昭和49年4月	平成6年6月	昭和56年4月	昭和56年4月
関係都市数	12市1町		7市	8市
	千葉市、船橋市、成田市、佐倉市 習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市 四街道市、八街市、印西市、白井市 富里市、酒々井町		松戸市、柏市 流山市、我孫子市 鎌ヶ谷市、印西市 白井市	市川市、船橋市 松戸市、野田市 柏市、流山市 鎌ヶ谷市、浦安市
処理場面積	約21ha	約24ha	約40ha	約26ha
流入水量(年間)	97,051,045m ³	57,369,555m ³	75,802,392m ³	131,658,730m ³
同(日平均)	265,893m ³ /日	157,177m ³ /日	207,678m ³ /日	360,709m ³ /日
管渠延長	166.4km		88.3km	105.0km

施設名	再生水利用下水道施設	下水処理水再利用施設
供用開始	平成元年10月	平成3年10月
供給地域	幕張新都心地区 幕張海浜公園ほか7施設	幕張新都心地区 約48.9ha
供給水量(年間)	244,422m ³	22,292,610m ³
同(日平均)	670m ³	61,076m ³

【建設事業】

- 1 公共下水道設計業務受託（9団体）
千葉県、市川市、木更津市、茂原市、成田市、佐倉市、浦安市、芝山町、長生村から幹線管渠等の実施設計業務を受託した。
- 2 公共下水道設計積算業務受託（2団体）
東金市、長生村から公共下水道施設に係る設計積算業務を受託した。
- 3 公共下水道建設工事受託（12団体）
市川市、木更津市、成田市、佐倉市、浦安市、八街市、印西市、白井市、富里市、香取市、芝山町、君津富津広域下水道組合から幹線管渠等の建設工事を受託した。
- 4 公共下水道施工監理受託（2団体）
東金市、長生村から公共下水道施設の建設工事に係る施工監理を受託した。

Ⅲ 庶 務

評議員会及び理事会の開催状況

平成30年度における評議員会及び理事会の開催は次のとおり。

【評議員会】

回	開催（決議）年月日	決 定 事 項	
第1回 （定時）	平成30年 6 月 29 日	議案第1号	平成29年度事業報告及び決算報告の承認について
		議案第2号	公益財団法人千葉県下水道公社理事の任期満了に伴う改選について
		議案第3号	公益財団法人千葉県下水道公社監事の選任について
		報告事項	平成30年度事業計画及び予算について 変更認定申請書の提出について

【理 事 会】

回	開催（決議）年月日	決 定 事 項	
第1回 （臨時）	平成30年 4 月 16 日 （決議の省略）	議案第1号	公益財団法人千葉県下水道公社の常勤役員報酬月額 の改定について
第2回 （定時）	平成30年 5 月 29 日	議案第1号	平成29年度事業及び決算報告について
		議案第2号	変更認定申請書の提出について
		議案第2号	平成30年度第1回評議員会及び付議する事項について
		報告事項	代表理事・業務執行理事の業務執行状況の報告について
第3回 （臨時）	平成30年 6 月 29 日 （決議の省略）	議案第1号	代表理事を選定し、理事長にすることについて
		議案第2号	業務執行理事を選定し、専務理事にすることについて
		議案第3号	業務執行理事を選定し、常務理事にすることについて
第4回 （臨時）	平成31年 1 月 15 日 （決議の省略）	議案第1号	公益財団法人千葉県下水道公社職員給与支給規程の一部を改正する規程の制定について
		議案第2号	公益財団法人千葉県下水道公社職員の再雇用に関する規程の一部を改正する規程について
		議案第3号	公益財団法人千葉県下水道公社の常勤役員報酬月額の改定について

回	開催（決議）年月日	決 定 事 項	
第5回 （定時）	平成31年 3 月 26 日	議案第1号	平成30年度補正収支予算（第1号）について
		議案第2号	平成31年度事業計画及び収支予算について
		報 告 事 項	代表理事・業務執行理事の業務執行状況の報告について
第6回 （臨時）	平成31年 3 月 28 日 （決議の省略）	議案第1号	平成31年度第1回評議員会及び付議する事項について
		議案第2号	代表理事を選定し、理事長にすることについて

役職員の状況

【評議員】

平成31年 3月31日現在

役職名	氏名	備考
評議員	鈴木 徹	税理士（国税庁出身）
評議員	太田 三郎	千葉商科大学商経学部長
評議員	武間 豊夫	元当公社理事長（千葉県出身）
評議員	生田 昌司	千葉県睦沢町代表監査委員（千葉県出身）

任期：4年（平成29年6月20日から平成33年6月開催の評議員会の終結の時まで）

【役員】

平成31年 3月31日現在

役職名	氏名	備考	
理事長	早川 徹		常勤
専務理事	豊島 輝雄	（総務部長事務取扱）	常勤
常務理事	増田 亨		常勤
理事	行方 寛	千葉県県土整備部都市整備局長	非常勤
理事	中野 政夫	市川市水と緑の部長	非常勤
理事	大橋 一夫	茂原市都市建設部長	非常勤
理事	君島 昭一	柏市土木部長	非常勤
理事	新谷 等	八千代市上下水道局長	非常勤
理事	齋藤 稔	芝山町まちづくり課都市下水担当課長	非常勤

任期：2年（平成30年6月29日から平成32年6月開催の評議員会の終結の時まで）

【監事】

監事	青柳 修司	君津市建設部長	非常勤
監事	庄司 末光	公認会計士	非常勤

任期：4年（平成28年6月7日から平成32年6月開催の評議員会の終結の時まで）

【職員の状況】

平成31年 3月31日現在 (単位：人)

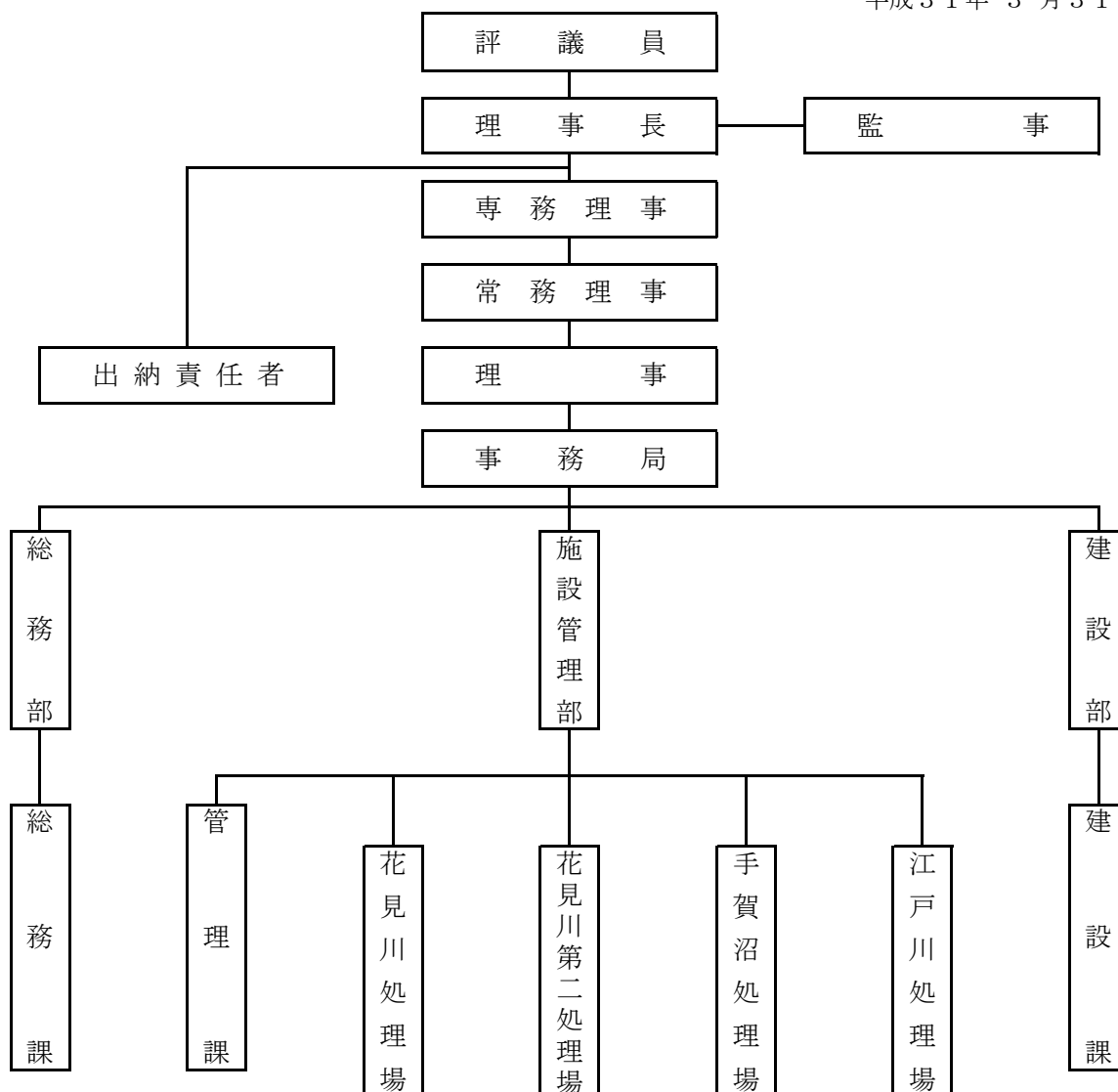
所 属		千葉県からの派遣	プロパー	計
総 務 部	部 長 ※			
	総 務 課	1	6	7
	計	1	6	7
施設管理部	部 長		1	1
	管 理 課		4	4
	花見川処理場		6	6
	花見川第二処理場		4	4
	手賀沼処理場		5	5
	江戸川処理場		7	7
計			27	27
建 設 部	部 長		1	1
	建 設 課	1	8	9
	計	1	9	10
合 計		2	42	44

※ 専務理事兼務

プロパー職員数に嘱託職員（3人）を含む。

【組 織 図】

平成31年 3月31日現在



決 算 報 告 書

(財 務 諸 表)

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,179,162,192	1,441,378,890	△ 262,216,698
未収金	1,055,000,640	1,316,025,303	△ 261,024,663
前払金	453,936	0	453,936
未成工事支出金	1,198,530,532	512,206,623	686,323,909
流動資産合計	3,433,147,300	3,269,610,816	163,536,484
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産普通預金	7,025,605	7,036,118	△ 10,513
基本財産投資有価証券	359,974,395	359,963,882	10,513
基本財産合計	367,000,000	367,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	329,625,162	323,788,787	5,836,375
調査研究事業積立資産	12,105,000	12,105,000	0
普及啓発事業積立資産	400,000,000	400,000,000	0
啓発施設積立資産	264,154,719	0	264,154,719
災害支援積立資産	40,000,000	0	40,000,000
研修支援積立資産	10,000,000	0	10,000,000
特定資産合計	1,055,884,881	735,893,787	319,991,094
(3) その他固定資産			
工具器具備品	946,300	946,300	0
工具器具備品減価償却累計額	△ 946,298	△ 946,298	0
電話加入権	859,200	859,200	0
長期貸付金	191,936	270,651	△ 78,715
その他固定資産合計	1,051,138	1,129,853	△ 78,715
固定資産合計	1,423,936,019	1,104,023,640	319,912,379
資産合計	4,857,083,319	4,373,634,456	483,448,863
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,597,540,767	1,879,896,138	△ 282,355,371
前受金	1,218,169,040	513,487,240	704,681,800
預り金	274,289,728	209,209,094	65,080,634
賞与引当金	31,760,834	31,095,254	665,580
流動負債合計	3,121,760,369	2,633,687,726	488,072,643
2. 固定負債			
退職給付引当金	329,625,162	323,788,787	5,836,375
固定負債合計	329,625,162	323,788,787	5,836,375
負債合計	3,451,385,531	2,957,476,513	493,909,018
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	367,000,000	367,000,000	0
指定正味財産合計	367,000,000	367,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(367,000,000)	(367,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,038,697,788	1,049,157,943	△ 10,460,155
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(726,259,719)	(412,105,000)	314,154,719
正味財産合計	1,405,697,788	1,416,157,943	△ 10,460,155
負債及び正味財産合計	4,857,083,319	4,373,634,456	483,448,863

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(1)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,128,913	3,129,595	△ 682
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	996	996	0
③ 事業収益			
下水道知識普及啓発事業収益	864,000	765,000	99,000
印旛沼流域下水道管理受託事業収益	93,945,247	43,610,562	50,334,685
花見川第二処理場管理受託事業収益	61,155,904	38,516,239	22,639,665
手賀沼流域下水道管理受託事業収益	83,688,704	45,113,569	38,575,135
江戸川流域下水道管理受託事業収益	2,333,552,850	2,313,506,652	20,046,198
再生水利用下水道管理受託事業収益	1,197,883	1,285,531	△ 87,648
下水処理水再利用管理受託事業収益	62,857,755	82,661,757	△ 19,804,002
花見川処理水再利用事業収益	71,825,488	92,249,053	△ 20,423,565
公共下水道設計業務受託事業収益	211,574,081	234,675,932	△ 23,101,851
公共下水道設計積算業務受託事業収益	5,629,629	11,000,002	△ 5,370,373
公共下水道建設工事受託事業収益	1,982,590,013	2,647,493,311	△ 664,903,298
公共下水道施工監理受託事業収益	5,935,185	20,453,704	△ 14,518,519
流域下水道設計積算業務受託事業収益	0	105,338,444	△ 105,338,444
流域下水道施工監理受託事業収益	0	44,345,049	△ 44,345,049
流域下水道業務技術の支接受託事業収益	0	800,000	△ 800,000
事業収益計	4,914,816,739	5,681,814,805	△ 766,998,066
④ 雑収益			
受取利息	1,992	1,992	0
雑収益	8,225	15,115	△ 6,890
雑収益計	10,217	17,107	△ 6,890
経常収益計	4,917,956,865	5,684,962,503	△ 767,005,638
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	20,575,149	20,380,154	194,995
報酬	1,396,030	1,485,814	△ 89,784

(2)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
給料	173,687,482	196,330,186	△ 22,642,704
諸手当	102,485,967	115,688,462	△ 13,202,495
法定福利費	51,393,276	56,983,573	△ 5,590,297
退職給付費用	35,708,160	14,698,175	21,009,985
賃金	4,166,967	4,351,779	△ 184,812
旅費	1,712,905	1,889,834	△ 176,929
厚生費	1,620,263	1,800,131	△ 179,868
会議費	190,058	161,515	28,543
消耗品費	627,439,530	640,969,972	△ 13,530,442
燃料費	2,294,759	3,443,321	△ 1,148,562
印刷製本費	2,555,679	3,001,566	△ 445,887
光熱水費	251,200	203,700	47,500
通信運搬費	3,320,793	3,131,817	188,976
手数料	562,979	602,701	△ 39,722
賃借料	13,993,802	17,872,008	△ 3,878,206
修繕費	467,023,538	501,151,977	△ 34,128,439
備品費	9,139,848	3,225,600	5,914,248
保険料	255,960	260,835	△ 4,875
交際費	14,579	18,253	△ 3,674
諸税公課費	4,888,688	4,382,193	506,495
広告費	706,277	406,443	299,834
諸謝金	185,153	154,066	31,087
支払負担金	2,269,100	2,798,151	△ 529,051
委託料	1,381,972,817	1,400,652,132	△ 18,679,315
工事費	1,891,934,361	2,520,542,884	△ 628,608,523
施設管理費	71,825,488	92,249,053	△ 20,423,565
支払寄付金	23,618	23,654	△ 36
賞与引当金繰入額	30,795,293	30,243,857	551,436
雑費	78,692	77,806	886
事業費計	4,904,468,411	5,639,181,612	△ 734,713,201
②管理費			
役員報酬	5,560,851	5,467,846	93,005
報酬	377,305	398,633	△ 21,328
給料	5,314,046	5,530,939	△ 216,893
諸手当	4,111,391	4,186,352	△ 74,961
法定福利費	2,536,595	2,539,561	△ 2,966
退職給付費用	715,325	610,580	104,745
賃金	434,893	435,346	△ 453

(3)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
旅費	87,239	103,062	△ 15,823
厚生費	435,602	479,313	△ 43,711
会議費	51,366	43,333	8,033
消耗品費	899,990	916,934	△ 16,944
燃料費	24,188	26,369	△ 2,181
印刷製本費	24,851	15,611	9,240
通信運搬費	242,818	215,196	27,622
手数料	61,994	67,259	△ 5,265
賃借料	1,133,002	1,284,647	△ 151,645
修繕費	71,766	22,127	49,639
備品費	13,191	0	13,191
交際費	3,940	4,896	△ 956
諸税公課費	851	888	△ 37
広告費	28,723	28,557	166
諸謝金	50,041	33,104	16,937
支払負担金	356,476	348,214	8,262
委託料	429,894	360,539	69,355
支払寄付金	6,382	6,346	36
賞与引当金繰入額	965,541	851,397	114,144
雑費	10,348	10,034	314
管理費計	23,948,609	23,987,083	△ 38,474
経常費用計	4,928,417,020	5,663,168,695	△ 734,751,675
当期経常増減額	△ 10,460,155	21,793,808	△ 32,253,963
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,460,155	21,793,808	△ 32,253,963
一般正味財産期首残高	1,049,157,943	1,027,364,135	21,793,808
一般正味財産期末残高	1,038,697,788	1,049,157,943	△ 10,460,155

(4)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,128,913	3,129,595	△ 682
②一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 3,128,913	△ 3,129,595	682
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	367,000,000	367,000,000	0
指定正味財産期末残高	367,000,000	367,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	1,405,697,788	1,416,157,943	△ 10,460,155

正味財産増減計算書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(1)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	3,128,913			3,128,913
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	996			996
③ 事業収益				
下水道知識普及啓発事業収益	864,000			864,000
印旛沼流域下水道管理受託事業収益	93,945,247			93,945,247
花見川第二処理場管理受託事業収益	61,155,904			61,155,904
手賀沼流域下水道管理受託事業収益	83,688,704			83,688,704
江戸川流域下水道管理受託事業収益	2,333,552,850			2,333,552,850
再生水利用下水道管理受託事業収益	1,197,883			1,197,883
下水処理水再利用管理受託事業収益	62,857,755			62,857,755
花見川処理水再利用事業収益	71,825,488			71,825,488
公共下水道設計業務受託事業収益	211,574,081			211,574,081
公共下水道設計積算業務受託事業収益	5,629,629			5,629,629
公共下水道建設工事受託事業収益	1,958,641,404	23,948,609		1,982,590,013
公共下水道施工監理受託事業収益	5,935,185			5,935,185
事業収益計	4,890,868,130	23,948,609	0	4,914,816,739
④ 雑収益				
受取利息	1,992			1,992
雑収益	8,225			8,225
雑収益計	10,217	0	0	10,217
経常収益計	4,894,008,256	23,948,609	0	4,917,956,865
(2) 経常費用				
① 事業費				
役員報酬	20,575,149			20,575,149
報酬	1,396,030			1,396,030
給料	173,687,482			173,687,482
諸手当	102,485,967			102,485,967

(2)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
法定福利費	51,393,276			51,393,276
退職給付費用	35,708,160			35,708,160
賃金	4,166,967			4,166,967
旅費	1,712,905			1,712,905
厚生費	1,620,263			1,620,263
会議費	190,058			190,058
消耗品費	627,439,530			627,439,530
燃料費	2,294,759			2,294,759
印刷製本費	2,555,679			2,555,679
光熱水費	251,200			251,200
通信運搬費	3,320,793			3,320,793
手数料	562,979			562,979
賃借料	13,993,802			13,993,802
修繕費	467,023,538			467,023,538
備品費	9,139,848			9,139,848
保険料	255,960			255,960
交際費	14,579			14,579
諸税公課費	4,888,688			4,888,688
広告費	706,277			706,277
諸謝金	185,153			185,153
支払負担金	2,269,100			2,269,100
委託料	1,381,972,817			1,381,972,817
工事費	1,891,934,361			1,891,934,361
施設管理費	71,825,488			71,825,488
支払寄付金	23,618			23,618
賞与引当金繰入額	30,795,293			30,795,293
雑費	78,692			78,692
事業費計	4,904,468,411	0	0	4,904,468,411
②管理費				
役員報酬		5,560,851		5,560,851
報酬		377,305		377,305
給料		5,314,046		5,314,046
諸手当		4,111,391		4,111,391
法定福利費		2,536,595		2,536,595
退職給付費用		715,325		715,325
賃金		434,893		434,893
旅費		87,239		87,239
厚生費		435,602		435,602
会議費		51,366		51,366
消耗品費		899,990		899,990

(3)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
燃料費		24,188		24,188
印刷製本費		24,851		24,851
通信運搬費		242,818		242,818
手数料		61,994		61,994
賃借料		1,133,002		1,133,002
修繕費		71,766		71,766
備品費		13,191		13,191
交際費		3,940		3,940
諸税公課費		851		851
広告費		28,723		28,723
諸謝金		50,041		50,041
支払負担金		356,476		356,476
委託料		429,894		429,894
支払寄付金		6,382		6,382
賞与引当金繰入額		965,541		965,541
雑費		10,348		10,348
管理費計	0	23,948,609	0	23,948,609
経常費用計	4,904,468,411	23,948,609	0	4,928,417,020
当期経常増減額	△ 10,460,155	0	0	△ 10,460,155
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,460,155	0	0	△ 10,460,155
一般正味財産期首残高	1,049,157,943	0	0	1,049,157,943
一般正味財産期末残高	1,038,697,788	0	0	1,038,697,788
II 指定正味財産増減の部				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	3,128,913	0		3,128,913
② 一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	△ 3,128,913	0		△ 3,128,913
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	367,000,000		0	367,000,000
指定正味財産期末残高	367,000,000		0	367,000,000
III 正味財産期末残高	1,405,697,788	0	0	1,405,697,788

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
無形固定資産…定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
ア. 賞与引当金・・・職員に対する賞与（期末勤勉手当）の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に負担すべき見積額を計上している。
イ. 退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産普通預金	7,036,118		10,513	7,025,605
基本財産投資有価証券	359,963,882	10,513		359,974,395
小 計	367,000,000	10,513	10,513	367,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	323,788,787	5,836,375		329,625,162
調査研究事業積立資産	12,105,000			12,105,000
普及啓発事業積立資産	400,000,000			400,000,000
啓発施設積立資産		264,154,719		264,154,719
災害支援積立資産		40,000,000		40,000,000
研修支援積立資産		10,000,000		10,000,000
小 計	735,893,787	319,991,094	0	1,055,884,881
合 計	1,102,893,787	320,001,607	10,513	1,422,884,881

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
基本財産普通預金	7,025,605	(7,025,605)	—	—
基本財産投資有価証券	359,974,395	(359,974,395)	—	—
小 計	367,000,000	(367,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	329,625,162	—	—	(329,625,162)
調査研究事業積立資産	12,105,000	—	(12,105,000)	—
普及啓発事業積立資産	400,000,000	—	(400,000,000)	—
啓発施設積立資産	264,154,719	—	(264,154,719)	—
災害支援積立資産	40,000,000	—	(40,000,000)	—
研修支援積立資産	10,000,000	—	(10,000,000)	—
小 計	1,055,884,881	—	(726,259,719)	(329,625,162)
合 計	1,422,884,881	(367,000,000)	(726,259,719)	(329,625,162)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
千葉県公募公債			
平成21年度第7回(10年)	39,998,401	40,301,200	302,799
平成22年度第7回(10年)	39,998,744	40,572,000	573,256
平成23年度第4回(10年)	39,995,031	41,084,400	1,089,369
平成24年度第9回(10年)	39,992,186	41,263,200	1,271,014
平成25年度第12回(10年)	39,990,033	41,253,200	1,263,167
平成26年度第4回(10年)	40,000,000	41,182,400	1,182,400
平成27年度第4回(10年)	40,000,000	41,499,600	1,499,600
平成28年度第6回(10年)	40,000,000	40,554,800	554,800
平成30年度第5回(10年)	40,000,000	40,556,400	556,400
合 計	359,974,395	368,267,200	8,292,805

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息への振替額	3,128,913
合 計	3,128,913

6. その他

○ 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

職員退職手当支給規程に基づく退職一時金制度、中小企業退職金共済制度と閉鎖型確定給付年金制度を採用している。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

①退職給付債務	426,042,632
②中小企業退職金共済からの支給見込額	96,417,470
③退職給付引当金(①-②)	329,625,162

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 退職給付費用(勤務費用)	36,423,485
----------------	------------

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、簡便法を採用しており、退職給付に係わる期末自己都合要支給額から中小企業退職金共済制度の退職金支給見込額を除いた額を退職給付引当金として計上している。

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」の「2. 特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	31,095,254	31,760,834	31,095,254	0	31,760,834
退職給付引当金	323,788,787	34,043,485	28,207,110	0	329,625,162

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金預金	普通預金 千葉銀行本店営業部 千葉興業銀行本店営業部 京葉銀行本店営業部	運転資金として	1,103,240,849
			55,904,591
			16,752
			10,000,000
	定期預金 千葉銀行本店営業部 京葉銀行本店営業部	10,000,000	
		10,000,000	
	未収金	受託市町村等	公益目的事業に係る受託収益等
前払金	労働保険料	平成31年度分	453,936
未成工事支出金		繰越工事の支出済工事費	1,198,530,532
流動資産合計			3,433,147,300
(固定資産)			
基本財産			
現金預金	普通預金 千葉銀行本店営業部	公益目的保有財産で運用益を公益目的事業の財源とする。	7,025,605
			359,974,395
投資有価証券	千葉県公募公債(10年) 9口	(基本財産計)	367,000,000
特定資産			
退職給付引当資産	普通預金 千葉興業銀行本店営業部	引当見合の引当資産として管理している。	319,625,162
			10,000,000
定期預金	千葉興業銀行本店営業部		10,000,000
調査研究事業積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	公益目的事業の推進のために引当資産として保有している	12,105,000
普及啓発事業積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	公益目的事業の推進のために引当資産として保有している	400,000,000
啓発施設積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	公益目的事業の推進のために引当資産として保有している	264,154,719
災害支援積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	公益目的事業の推進のために引当資産として保有している	40,000,000
研修参加支援積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	公益目的事業の推進のために引当資産として保有している	10,000,000
その他固定資産			
工具器具備品	金属名板他 (工具器具備品減価償却累計額)	公益目的事業のため財産として保有している	946,300
電話加入権		公益目的事業で使用するため保有している	△ 946,298
長期貸付金	職員貸付金	公益目的事業担当職員への貸付金	859,200
			191,936
固定資産合計			1,423,936,019
資産合計			4,857,083,319
(流動負債)			
未払金	業者に対する未払金	公益目的事業に係る未払金	1,597,540,767
前受金	未成工事費 市川市他	公益目的事業に係る前受収益	1,218,169,040
預り金	受託料精算残金	公益目的事業の精算残金	274,289,728
賞与引当金	職員賞与当年度負担見込額	公益目的事業担当職員への賞与引当金	31,760,834
流動負債合計			3,121,760,369
(固定負債)			
退職給付引当金	職員に対する退職債務		329,625,162
固定負債合計			329,625,162
負債合計			3,451,385,531
正味財産			1,405,697,788